

令和3年度 第9回

日南市教育委員会

会議録

令和3年11月25日(木) 午後3時から
日南市役所・プレハブ会議室（北301号室）

1 会議の名称 令和3年度教育委員会 第9回会議（定例）

2 会議日時 令和3年11月25日（木）
午後3時から午後4時00分まで

3 出欠確認

（1）出席委員 都甲政文 郷谷純一 黒木由香 別府信一

（2）事務局 教育部長兼学校教育課長
生涯学習課長
学校教育課学校教育担当監
学校教育課管理係長
学校教育課管理係主査

4 場所 日南市役所・プレハブ会議室（北301号室）

5 傍聴者 2名

6 開会

【都甲教育長】

「それでは、令和3年度第9回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」

7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】

「出席者の確認をいたします。本日は崎村委員が所用で欠席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【甲斐部長】

「事務局は、全員出席です。」

【都甲教育長】

「傍聴者は2名お見えになっております。よろしくお願いします。」

8 活動報告

（1）教育長活動報告

【都甲教育長】

・10月27日、吾田中学校の体育大会に行かせていただきました。天候にも恵まれ、練

習の成果を児童生徒が十分に発揮していました。

・10月29日、全国へき地教育研究大会宮崎大会が榎原小で行われました。新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれていましたが、一部リモートで県内地区からも30名ほどの参加があり、2人の先生の複式授業を見させてもらいましたが、素晴らしい授業で参加者からも大変好評でありました。

・10月30日、第40回日南市美術展表彰式がございました。昨年は実施されなかったんですが、今年は開催ということで、絵画や写真等多くの作品が出品されました。素晴らしい作品ばかりで、多くの方が来場されました。

・11月1日、2日、17日に学校単独訪問がございました。今月は3校訪問させていたいただきましたが、後ほど委員の皆さんから感想等をお願いします。

・11月4日、校長会がございました。校長のメンタルヘルスについてなんでも相談して欲しいこと、自分自身で気を付けることを伝えました。また、職員それぞれに合わせた関わり方を心がけて欲しいとも伝えました。

・同日、吾田小合唱部が全国大会の出場報告に来られました。全日本合唱コンクールなんですけども、この2日後の6日に開催されたんですけど、金賞を受賞しまして、全国で2位ということで、月末に報告に来てくれるということで、明るいニュースでありました。

・11月8日、他県現職新採教員という、他県で経験をして、本県に採用された職員が飢肥中に2名おられます。その先生方の授業参観と、短い時間ではありましたが話を聞かせていただきました。福岡と横浜なんですけども、それぞれの経験と宮崎の違いを話されましたので、ぜひ経験を活かして新しい風を吹かせて欲しいと伝えました。

・11月8日、9日、永年勤続30年表彰を鵜戸小中の校長、吾田小学校の教頭に表彰状を渡しに行かせていただきました。両校とも温かい雰囲気でありましたが、特に鵜戸小中学校は校長先生の誕生日と重なって、サプライズで全校児童生徒が職員室でお祝いしてくれて、校長先生が思わず涙ぐむ感動的なシーンがありました。

・11月10日、第13回日南市小・中学校音楽大会が開催されました。昨年度は実施されませんでしたが、本年度は無観客ではありますが開催されました。発表の場を与えられて各学校ともしっかり練習してきて成果を発揮していました。

・11月11日、12日、校長先生のヒアリングを行ないました。人事異動のヒアリングになるんですけど、校長先生の次年度の構想等含めて要望を言われましたので、しっかりと聴かせていただきました。

・11月16日から、5校ほど租税作文の表彰に回らせていただいております。多いところで6人、少ないところで2人、頑張って賞を取ってくれました。ただ、応募総数が減ってきているということを税務署長がおっしゃって、各学校に啓発を図って欲しいと依頼されました。

・11月20日、DENKEN WEEK2021と図書館まつりがあり、市長と一緒に視察させていただきました。DENKEN WEEKは4回目ということで、非常に天気も良く多くの方が訪れて、

午後からは駐車場が満車になるほどで大変盛況でした。

・11月22日、日南市ソリューション会議がございました。これは中高を卒業してなかなか進路が決まらない子に対して、誰一人も取り残さないということで商工会議所や学校・行政がチームを組んで「職」につなげるということなんですけども、連携がうまくいった事例も紹介されました。今後も課題を解消しながら連携していくことを確認しました。

・11月25日、県生活科・総合研究大会がまなびピアで開催されました。これは、生活科、総合的な学習の時間の研究成果を発表・協議する大会でありました。本市から2名の先生が発表されるので見に行かせていただきましたが、2人とも研究の成果をしっかりと発表されていました。来年、宮崎で開催される九州大会の予行練習も兼ねて実施されたようですが、大変活気のある大会でありました。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

11月2日に細田中学校訪問に行かせていただきました。校長先生の取り組みで部活動に入っていない子たちに、色々な取り組みを提供・経験させるという、働き方改革で忙しい中で、前向きに色んな活動をされていることに素晴らしいなと感じたところでした。

昨日、日南市PTA協議会があり、私もPTAとして出席させていただきました。会長さん達も質問が多くて、貴重な意見等あったんですけど、会議終了後も個別の相談も何件か受けて、自分たちはどうしても学校に関わっているので先生方の忙しさを理解しているんですけど、職場の環境状況を分かってもらうというところは引き続き説明が必要なんだろうなと思ったところです。またPTA行事等の見直し、これが一つの問題があると思います。バレー大会とか、保護者のバザー、まつり等、これは意外と各学校が大きいければ大きいほど、保護者のコミュニケーションの場であったりとか、それが選考委員にも繋がるということで、そこを、働き方改革を盾に一方的に中止にされると、そこで軋轢、亀裂が入ると。楽しいイベントは中止となって奉仕活動や見回り活動だけを押し付けられるような構図ができると、本当にいけないんで。ただ、意外と校長先生と会長がうまくいっているところは、そういったことは会長がしっかり説明してくれるようで、校長先生と会長がうまく連携をとっていけば、会長も学校のためにと動いてくれると思いますので、意思疎通を図ってほしいなと。

あと、自分が吾田まちづくりの副会長をしておりますが、意見として出るのが、まつりをするのに学校の子も達を呼びたいんですよね。企画に挙がったのが出店をさせようとか、まつりのイベントやゲーム係にさせようとか、地区でいうと吾田東、吾田小吾田中の子も達に声をかけてまつりを盛り上げようと。であれば、各学校でわざわざまつりをしなくても、地区のまつりをするによって学校も楽になるし、地域の自治会長さん達も楽しく盛り上げられるしということで、そういった学校行事をシフトし

ていくということも一つの形じゃないかなと思います。今回自分が3校の会長さんと話し合いながら計画していければというのと、あと、せっかく学校運営協議会が出来たので、議題として挙げると意外とうまく一つのモデルが作れ、他に続いていくんじゃないかと思って、そのあたりも視野にいれながら活動していくといいんじゃないかと思ったところでした。

【黒木委員】

11月2日に細田中学校を学校訪問させていただきました。子どもが通っている学校なので、読書している印象がすごくあったので、よく最近、コミュニケーション不足になるということで読書が必要だという声を聞くので、この学校はよく読書をしてるよなと思います。でもやっぱり課題でコミュニケーション不足の問題があるというのがあったので、もう一つ踏み込んで先生に聞かせていただいたところ、読むだけではなく、読んだことで今度はそれをアウトプットする場所が必要だとお話しをいただいて、入れるだけでなく、ちゃんと発表する場、表現する場が大事なんだなと改めて感じたところです。そこで取り組みの一つの、朝の時間の読み聞かせの後の自分たちの意見発表、そこまでやることの大切さもあるなと感じたところで、教育長もその時に、コミュニケーションをとる練習とか実践は、親が相手になることも大事なんじゃないかとおっしゃったのもまさにそうだなと思って。改めて、当たり前だけど、親子のコミュニケーションも大事だなと感じる時間でした。

その次が17日の南郷小学校で、ここはPTAと学校の取り組みでPTA学力向上委員会というのがあって、各クラスから1名保護者を選出して、担当の先生と抱えている問題や悩みを相談して解決、それこそ学校の先生と保護者が同じ問題に向かって考えるということで、学力向上委員会というPTAでもなかなか聞いたことがなかったので、各学校こういう取り組みされるとすごくいいなと思ったので、時間があったら市Pの方でもこういうモデルがあることを小学校の方に発表してもらって、よかったらぜひ取り組んでみてくださいと声をかけたいなと思いました。

20日に図書館まつりに顔を出させていただきました。会場に行ったのは初めてだったんですが、体育館の会場入り口で本の無料配布をされてて、4,000円ほどする本が無料で並べられてて、普通では買えない、なかなか揃わないような本がありました。私もたくさん貰って帰ったんですけど、段ボールや袋の準備、台車等の貸し出しもあり、その割には賑わるほどの人数は見えてなくて、その後に色んな方にまつりの話をする、知らなかったという話を聞いたので、もっと告知して多くの方に足を運んでいただくとすごくいいなと感じました。

また、昨日のPTA協議会で、働き方改革については、やはり保護者と学校でお互い理解ができるといいかと。もっと保護者が先生の働き方を本当の意味で知るということが、子ども達のためにも色んな意味でいい方向に向くんじゃないかと感じることがたくさんあるので。ただ、行事のことを相談すると、働き方改革なんてと先生に一言言

われた場面があったらしくて、先生の働き方改革という言葉を使う時に、その文言をすぐに出すんじゃなくて、出すとそこで誤解とか壁を作りかねないので、気をつけたほうがいいなと感じました。

あと、市Pの方で市議会の方との意見交換があったんですけど、保護者の方はどうしても市議会の方じゃなくてどんどん教育委員会に意見を持って行って、結局教育委員会とPTAとの話し合いになってしまっただけ。結局保護者は教育委員会に向ける質問や気持ちがたくさんあるんだろうなと感じたところでした。毎年、通学路の危険個所の点検を行なってるんですけど、保護者の方から、こういう危険なところもあるんです、そこをもっと整備してもらいたいという意見も挙がったりしたので、まだちゃんと挙がってきていない声もあるんだな、もう少し保護者一人一人の声がいきわたるような教育委員会や市議、さらに市を含めた連携と、そのつながりで教育委員に現状を伝えていくような体制が必要なんじゃないかと強く感じたところでした。

【郷谷委員】

11月1日、南郷中学校に訪問させていただきました。授業参観をさせていただきましたが、学校訪問する際は子ども達の様子を見られた方が気持ち的にもいいなと感じました。社会の授業が衆院選の結果が出た次の日だったと思いますが、宮日新聞の記事を持ってこられて、誰が当選したかとか話されてました。よく若い人たちの投票率が低いということをおっしゃられてますけど、それぞれ学校は主権者教育の立場からされていると思うんですけど、ああいう授業を通して、選挙の当選した人のこととか、そういった主権者教育に結び付けることで、選挙に興味、関心を持つようなことにつながればいいと思いました。

あと、個人的なことなんですけど、校長先生をはじめ、先生方には体調に気をつけるよう声をかけていただければと思いました。

9 前回の議事録承認

第8回の議事録について了承

10 研修「生徒指導の現状と課題について」 ～益留指導主事説明～

【別府委員】

2年度の不登校の人数の中で教育支援センターに通うことができる児童さんはどのくらいの割合でしょうか。

【益留主事】

昨年度はちょっと確認しておりませんが、現在通っているのは11名ほどです。

【別府委員】

日南市の広報誌とかで、毎月第3土曜日に引きこもりに関する相談をまなびピアでやってると聞いたのですが、それとは教育委員会とは別でしょうか。

【都甲教育長】

それはおそらく成人に対する相談ということで、福祉部局になるかと思います。

【郷谷委員】

各学校に訪問されている巡回相談員ですが、一人何校担当されているんですか。

あと、各学校訪問されて生徒の状況実態がわかって、それは支援センターの先生に全部集まってきて、それを一回みんなで話し合うことはないんですか。

【益留主事】

巡回相談員ですが、大体一人3～4校ぐらいになります。また各学校の状況は支援センターに集約して、月1回会議を開いて報告や方針について協議しています。

【郷谷委員】

保護者の協力が得られない事例があるとのことですが、それは誰に相談していいかわからないという保護者がいらっしゃるということで理解していいですか。

【益留主事】

それもございます。

【黒木委員】

この相談員指導員の方の人数はこれで足りている感じですか。

【益留主事】

先ほど申しあげた適応指導アドバイザーが現在1名支援センターに常駐しております。支援センターでの指導がメインとなっていますが、かなり厳しくなってきました。学習指導員、この方本当は各学校の別室登校の子どもの学習指導で回ってもらっていたんですけど、この方を支援センターに戻して、今2名体制でやっているということで、かなりきつい状況になってきています。

【黒木委員】

この指導員を戻されたということは、別室指導をしている先生は各学校で対応されているということですか。

【益留主事】

基本各学校で対応して、ニーズがある場合に指導員を派遣していたんですけど、どうしても支援センターの方が優先ですので、学校に行かせていたのを戻しています。もちろん完全にいるわけではなくて、支援センターの状況を見て学校を回るよう柔軟に対応している状況です。

【都甲教育長】

家から学校に行くための一つの大きなステップなので、そういうところを充実させたいと思っているんですけど。

【黒木委員】

それは、中学生の利用が多いということですよ。それと不登校になられた方はこのような施設があると知ってた上で利用されていないんですか。

【都甲教育長】

必ず学校は紹介をします。ここに行くと出席扱いになるからですね。

【黒木委員】

登下校、送迎の関係で、例えば親御さんが仕事関係で送っていけないとか、そういうこともあったりするんですか。

【益留主事】

そういったこともあります。送り迎えじゃないといけないということはないです。中学生であれば、距離的な問題もありますけど吾田近郊であれば自転車でという子もいます。ただ、小学生については送り迎えが必要である、あと、小中学生に関わらず、日南市内でも遠くの学校で通うには遠いという状況もあります。

【黒木委員】

ここに通ってて、学校に行けるようになった子ども達も、前訪問させていただいた時に学校への距離が縮んだという話も聞いたので、少しでも小学生のうちに、ここが利用できるとまた違うのかなという気がするんですけど。

【郷谷委員】

不登校のですね、時々学校に行く子もいると思うんです。適応教室に行く子もいると思うんですが、全く学校にも行かない、適応教室にも行かない子どもっているんですか。

あと、親が、両親もいて仕事に出て行ったときに、子どもの安否確認といったことは学校の先生が訪問されているんですか。

【益留主事】

そういった子はいます。安否確認もしないといけませんので、そういった対応をしています。

【別府委員】

教育支援センターの存在ってすごく絶対必要だなって思って、例えば教育支援センターに通わず前に、保護者が子ども連れて見学に行きたいという形もあると思うんですけど、見学に来た上で来ないというのもあるのか、そもそも、見学すら来ない子どもさんも多いんですか。

【益留主事】

完全不登校の場合は見学には来ないですね。見学も非常に申し込みが多くて、見学に来られるところは大体入ります。すぐうちも手続きを求めるわけではないので、まずはお試しで入ってみてどうでしょうか、しばらく通えそうになったら正式に手続きしてくださいという風にしているんですけど、大体入られます。

【黒木委員】

この不登校の児童、特に小学生というのは、高学年になるにつれてどんどん不登校気味の子が増えてくる傾向がありますか。

【益留主事】

おっしゃるとおりです。

【黒木委員】

それと、幼稚園保育園は大体行っているんですか。幼稚園保育園もあんまり行きたくないまま小学校に入学して、学校も同じように行かない子なのか、幼児過程は楽しかったけど、小学生になって環境が変わってどんどん学校がしんどくなってきたなという子が多いのか。

【益留主事】

いることはいますが、そのケースは非常に少ないです。

【別府委員】

W i - F i とタブレットの環境はまだ先になりそうですか。

【都甲教育長】

一番問題なのは、全ての家庭に環境がないというのもあったり、それこそ昨日県内の市町村の会議に参加したんですけど、やっぱり持って帰らせるに関しても不安に思っている保護者も多いというんですよ。

【別府委員】

教育支援センターの状況はどうですか。

【都甲教育長】

支援センターはまだW i - F i 環境がないと思うんですが。

【事務局】

確認はしていませんが、W i - F i がついているんじゃないかと思われます。

【別府委員】

であれば、タブレットはここで使用できるということでしょうか。

【益留主事】

学校で配られているタブレットを支援センターで使うということでは、今、持ち出しができない状況にあって、まず学校の中でだけ使うというのがあります。学校で設定してあって、この学校に在籍している子が支援センターで使いたいと持って行っても使えない。

【都甲教育長】

今支援センターではどうしているの。

【益留主事】

まず、半日のカリキュラムで、午前中は個別学習ですね、それぞれ学年が違いますので自学する教材を持ってきて、勉強する内容はそれぞれ違っているので、それに対してアドバイザーが指導すると。間でリフレッシュタイムとして活動をしたりとか、ゲームや卓球をしたりとか、そういった時間が設けられています。それで午前中で終わりということになっています。月曜から木曜までの開所で、金曜日が休みと。

【都甲教育長】

やっぱりやってることは十分ではないので、言えば心のリハビリみたいな形でやって、学校に繋ぐということじゃないと。とても一週間の月曜から木曜の半日で、他の学校に行ってる子と同じようにはできないからですね。そういうのを前提にしながら親御さん本人ともやりながら、やっぱりゴールは学校に通って一時間でも授業だよっていう話なんですよ。

1 1 議題について

協議 1 令和 3 年度他市町村教育委員会との意見交換会について

(蛭原主査)	令和 3 年度他市町村教育委員会との意見交換について説明。
(都甲教育長)	これについてはよろしいでしょうか。

協議 2 12 月議会上程議案等について

(甲斐部長)	12 月議会上程議案等について説明。(学校教育課分)
(長本課長)	”(生涯学習課分)
(都甲教育長)	これについてはよろしいでしょうか。

1 2 その他

(1) 12 月行事予定について

① 市内文化財視察について

ア 日 時 令和 3 年 12 月 23 日(木) 午後 2 時から

イ 集合場所 第 2 南別館(教育委員会庁舎) 駐車場玄関前

視察場所、行程については生涯学習課文化財係と調整中。

(2) 第 10 回 教育委員会会議(定例)

① 日時 令和 3 年 12 月 23 日(木) 午後 4 時 00 分から

② 場所 日南市役所・プレハブ会議室(北 301 号室)

(3) その他

① 前教育長 黒木康英氏の地方教育行政功労表彰(文科省)の受賞について報告。

② SNS について

【黒木委員】

学校によく SNS のアンケートで、子ども達に一日何時間使っていますかというアンケートを取ると思うんですけど、もう少し内容を掘り下げていただけ

たらというのがあって。結局、SNS、スマホなりの中に全部入っているわけですよ、これからロイロノートも連動されていくとなると、一日3時間以上も使っている生徒さんが増えてきましたとか言うんですけど、中学生になると特に、音楽を聴いているだけとか、料理が好きだからYouTubeで趣味としてやってる料理のレシピを見てるとか、本を読んでもとか。色々用途がゲーム、YouTube等色々あるので、趣味なのか、本当に自分にスマホでやらないといけないことなのかという認識をさせるためにも必要なんじゃないかと思って。

私たちの時は、音楽はプレーヤーで聴くといった切り離されていたけど、今の子どもたちはスマホの中に全部入ってしまっているんで、そこを一纏めて何時間使っていますか聞かれて、3時間音楽も聴くし勉強の調べものもするしで、子ども達は端末を使った時間を言っている子が多いんじゃないかと思っているんですよ。だから、自分が何のためにそれを使っているのかというのを、そこは保護者としても、自分の子どもが何に携帯とかiPadを使っているのか知ったうえで使い方を親子で考えてルールを作るのがいいんじゃないかと。何時間使ってますかだけで聞かれると、ちょっと中身が見えてきてないじゃないかと。先生たちもそのアンケートで子ども達がどのようにSNSを使っているのか、端末機器を使っているのか知ることができるといいんじゃないかと思うんですが。

【都甲教育長】

やっぱり一つの段階に来てるわけですよ。今までは大雑把に一日何時間使うことだったわけですけど、今後はおっしゃるように使うのはいいんだけど、何に使っている、どういう時間で使っている風にしたいということですよ。

【黒木委員】

子どももまだそこは辞書で、ちゃんと紙で調べてねとか、そういう調べ方もあるんだったらいるねとかいうところも見直しというか、できるんじゃないかなと。何時間使ってますかというアンケートも結構何回もあるので、時間だけで区切れないんじゃないかなというところを最近感じるとこなので。

【都甲教育長】

そこは校長会等と相談していきながら、今後のアンケートの有り方として考えさせていただきます。多分学校も、そういうことは考えているとは思いますが、ちょっと中身が見えないよねとか。おっしゃるように親子で意識することにもなるからですよ。

【別府委員】

使用時間を見たら、SNS何時間、YouTube何時間とかあって。これを一回親子で見てくださいかという働きかけもPTAもそうなんだけどしてみると、SNS使いすぎじゃないかという会話も生まれると思うので、そういったきっかけ作りを投げかけてもいいのかなと思います。

【都甲教育長】

ぜひそういうところは、PTAの組織と連携してやれるといいですね。
なかなか学校は持ち込み禁止なので、親子で見てもらわないといけないからですね。3者がうまく、子どもと保護者と学校がということですよね。

13 閉会